

令和2年3月25日

各位

瑠璃光寺 住職 喜多村龍介
総代 藤嶋 満作
総代 吉松 俊雄
総代 吉村 芳則

「新型コロナウイルス終息祈願のための大覚寺写経奉納のお願い」

謹啓 春陽の候 ご尊家益々ご清栄の段 大慶に存じ上げます。

平素は瑠璃光寺の護持、発展にご尽力賜っております事、心から厚く御礼申し上げます
さて瑠璃光寺の本山真言宗京都大覚寺では今から1202年前、即ち弘仁9年（818年）
天下大疫に見舞われ、多くの人々が苦しむ姿に心痛められた嵯峨天皇様が宗祖弘法大師空海様のお勧めにより般若心経を書写なされました。**その功德により疫病が治まり**、再び平安が訪れたという靈験を伝えるのが大覚寺であります（般若心経秘鍵上表文・現代語訳参照）

国内外で「新型コロナウイルス」による肺炎の感染者が増加している緊急事態の中で、大覚寺の末寺の瑠璃光寺としてなすべき事は何かと考えた時、前述の前例にならい、般若心経を写経して頂くことをお願い申し上げます。**写経は先ず病氣平癒のご利益のある瑠璃光寺ご本尊薬師如来様でご祈祷の後に大覚寺にお送りし、大覚寺でご祈祷いたします。**

世界はグローバル化によって一つになっており、他国で起こった苦難が我々にとって決して無関係ではありません。今回の新型コロナウイルスの出現が、この厳然たる事実を我々にまざまざと示しています。今、世界を恐怖に陥れている「天下大疫」を前に、「般若心経秘鍵」、特に「上表文」を信仰してきた全ての時代の先人の祈りに想いを致し、我々は祈りで世界を繋げなければなりません。今こそ般若心経写経の実践に取り組むべき時と考えます。

つきましては、**1巻1000円で写経奉納をお願いしたく存じます**ので、ご協力宜しくお願い申し上げます。

今回の趣旨にご賛同いただけます方は、ご住所、氏名、希望巻数、お電話番号をホームページのお問合せからお申し込み下さい。お申し込み後、写経用紙をお送りしますので、写経後ご送付下さるか、4月8日の大祭の際に瑠璃光寺にご持参下さい。なお代金は写経用紙に添えて送金して下さい。4月8日に瑠璃光寺にご持参下さい。

ご不明な点がございましたら、下記までご遠慮なくお尋ね下さい。

合掌

〒819-1145 福岡県糸島市雷山626 千如寺大悲王院内

瑠璃光寺住職 喜多村龍介

（電話 092-323-3547 F A X 092-324-3176）